

フィリピン政府観光省認定

EXPERIENCE THE
PHILIPPINES

フィリピンをもっと知ってもっと楽しむ

naviManila



無料

FREE

ご自由にお持ち帰りください。

毎月第1日曜日発行

マニラで考える

October
2021
Vol.82

異文化コミュニケーション

Understanding
Cross-Cultural
Communication
in Manila



navimanilaph.com

日刊



The Daily MANILA
SHIMBUN

SINCE 1992

[巻頭企画] 鼎談 自分の中の異文化と生きる。

インタビュー

フィリピン在住の国際結婚カップル

[連載]

フィリピン・ワールド #まにら散歩

セブ通信 北の町バギオから

ナビマニチャンネル10月のラインナップ

NaviモノInfo



ITALY'S N°1 PASTA



Passion FOR PASTA™

*Experience the Excellent Taste of Santis
Cheese and Cold Cuts Platter*

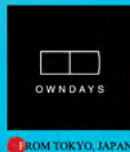


PERFECT PAIRED WITH WASA® CRACKERS



Like and follow us on

OWNDAYS CLEAR VISION



— Contact Lens —



Long Lasting
Comfort



High
Breathability



Improved
wettability



Safe and
Effective



Made in the US
and UK



Monthly Disposable | 3 pairs per box

Experience the freedom and all day comfort with
OWNDAYS Clear Vision contact lenses.

OWNDAYS Clear Vision コンタクトレンズで、
一日中自由に快適な使用感を体験してください。

Available at www.owndays.ph and in selected
stores below for Php 1,990 per box

Eastwood | Estancia | Festival Mall | Glorietta | Robinsons Ermita |
Robinsons Magnolia | SM Megamall | SM North EDSA | UP Town Center |
Uptown BGC



owndays.ph



www.owndays.ph



[owndaysph](https://www.instagram.com/owndaysph)

4 マニラで考える 異文化コミュニケーション

鼎談 自分の中の異文化と生きる。

インタビュー フィリピン在住の国際結婚カップル

20 Navi モノInfo

連載

18 フィリピン・ワールド

第56回 Deretso lang!

22 #まにら散歩

中華街で「カエル料理」を体験!

24 北の町バギオから

文武両道 バギオ大学出身のオリンピックボクサー

26 セブ通信

「バルコニスト」実践中。

28 ナビマニチャンネル

10月の動画ラインナップ

30 摩訶ふいりぴん

自由でゆるやかなフィリピンの求人応募

31 マニラ現地紙ナナメ読み

32 Staff Diary @928

ナビマニラ配布場所リスト



お問い合わせはこちら

◎「ナビマニラ」「日刊まにら新聞」への
広告掲載、店舗・会社での「ナビマニラ」
配布設置について

(02) 8551-8238 / 8807-8918
ads@manilashimbun.com (日本語)

◎記事について

(02) 8551-8238
contact@navimanilaph.com (日本語)

ナビマニラウェブサイト
www.navimanilaph.com



ナビマニチャンネル



日刊まにら新聞ウェブサイト
www.manila-shimbun.com



2021年10月3日発行

日刊まにら新聞 The Daily Manila Shimbun



2F, 928 Arnaiz Avenue, Makati City

●本誌記事の無断転載を禁じます。●本誌掲載の内容は取材時点のものであり、予告なく変更されている場合があります。●本誌掲載内容による損害、トラブル等については本社は責任を負いません。

生徒募集

まにら新聞監修

日本語Eラーニング 国語・作文教室

10月から新学年が始まります

2020年11月に開校した教室が第2学年を迎えました。日本の学校教科書を用いたオンライン授業を海外からを含めた小中学生に提供しています。詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.manila-shimbun.com/info/school.html>

▽クラスと授業時間

授業コマ数:1コマ50分、国語:週3コマ 作文:週2コマ 月4回まで

	クラス名称	クラスレベル	授 業 時 間
国語	J2	中学上級レベル	毎週土曜日9:30am~12:30pm
	J1	中学初級レベル	
	E3	小学上級レベル	
	E2	小学中級レベル	
	E1	小学初級レベル	
国語	B (入門)	日本語初心者	毎週水・木曜日3:30~5:00pm
作文	作文	日本の中高大学受験向け	毎週土曜日午後4~6pm

【授業料】

入学金：
3,000ペソ (6,600円)
※教材代含む
月 謝：
(1) 国語教室：
6,000ペソ/月 (13,200円)
(2) 作文教室：
8,000ペソ/月 (17,600円)
※きょうだいで受講の場合
月謝は各2割引となります。



問い合わせ・連絡先 日刊まにら新聞編集部

岡本 ☎ +63-917-748-6776

okamoto@manilashimbun.com

高校クラス開設予定

高校生のお子様を持つ保護者様、お問い合わせ下さい。

読者アンケート

Answer the Navi Manila Reader Survey
and

Get a Chance to Win a P500
Tong Yang Buffet Voucher

懸賞付き!!

「ナビマニラ」10月号 (Vol.82) を手に取っていただき、
ありがとうございます。

よりよい誌面制作のため、アンケートにご協力いただき
ますようお願いいたします。

アンケートは右のQRコードをスキャンして回答、
または下記の通りEメールでも回答いただけます。

Scan the QR Code to answer the Navi Manila Reader Survey
by 22 October 2021.

Five lucky winners get a 500 peso Dining Voucher
for TONG YANG Shabu-Shabu & Grill Buffet !!



TONG
YANG 冬陽

しゃぶしゃぶ&焼肉食べ放題

TONG YANG
冬陽

食事券が当たる!

アンケートに回答いただいた方の中から抽選で
5名様にTONG YANGレストランの
食事割引券(500ペソ)をプレゼントいたします。

【Eメールでの回答・応募】

Q 1. 「ナビマニラ10月号 (Vol.82)」をどこで入手されましたか。「まにら新聞」購読者
で新聞同封で入手された場合は、「まにら新聞同封」と記載してください。

Q 2. 今月号でおもしろかった記事を挙げてください。(複数回答可)

Q 3. どんな企画内容の記事を読みたいですか。

Q 4. 「ナビマニラ」について何でも率直な感想をお願いします。

上記質問の回答と、①お名前(英語) ②ご住所(英語) ③年齢(〇歳代前半/後半)を
記載のうえ、Eメール件名を「ナビマニラ10月号アンケート」として
contact@navimanilaph.com までお送りください。

アンケート締め切り 2021年10月22日(金)

※厳正な抽選を行い、当選者の方には10月29日までにEメールにてお知らせします。

※景品の発送先はフィリピン国内に限ります。

※お送りいただきました個人情報は弊社内での誌面制作および景品の発送にのみ使用いたします。

—ご両親の出身は？

横田 母がケソン市出身のフィリピン人で、父は岡山出身の日本人です。

川崎 私も母がパンパンガ出身のフィリピン人で、父は東京出身の日本人です。

池田 母は南アフリカ生まれでノルウェーと、イタリア、イギリスの血を引いています。父が長崎生まれの日本人です。

What are your parents' ethnic backgrounds?

Yokota My mother is Filipino

from Quezon City and my father is Japanese from Okayama prefecture.

Kawasaki My mother is Filipino from Pampanga, my father is from Tokyo, Japan.

Ikeda My mother is from South Africa and descended from Norway, Italy, and Britain. My father is Japanese from Nagasaki prefecture.

—皆さんの出身地は？

横田 僕はフィリピン生まれで

幼稚園はローカル、小学校と中学校は日本人学校、高校はインターナショナルスクールに通いました。

川崎 私は幼稚園までは東京の保谷市（現西東京市）にいて、小学校から今までずっと21年間フィリピン在住です。

池田 長崎市で生まれ育って、中学、高校の時に母とマニラで暮らしました。長崎にいる時、母の親友がフィリピン人だったんです。その後、南アフリカのケープタウン、東京を経てマニ

Understanding Cross-Cultural Communication in Manila

マニラで考える 異文化コミュニケーション

日本を離れて海外に身を置くと、異文化との出会いがあります。そこでは自分自身が異文化そのもの。マニラで暮らし、働く日本人にとっては、毎日が言葉、文化が異なる人々との日々です。堅苦しくなく、カジュアルに異文化コミュニケーションについて考えてみました。

When you are overseas, it is inevitable to come across different culture and people with diverse backgrounds. Navi Manila explores what cross-cultural communication is like in Manila.

横田ジャン・リュックさん
Jean Luc Yokota



ラに来たのは2011年です。

Where were you born and raised?

Yokota I was born and raised in the Philippines and went to a local kindergarten, the Japanese primary and junior high school and an international high school.

Kawasaki I was brought up in Tokyo until the age of five. I have been living in the Philippines for the past 21 years.

Ikeda I was born and raised in Nagasaki, Japan and moved to

自分の中の 異文化と生きる。

ていたん
鼎談

生まれながらに異文化を自分の中に持つ人たち。
世間でいわゆる「ハーフ」と呼ばれる人たちは、
自分の境遇に対してどのような思いを持っているのか。
マニラに暮らす3人の方に聞きました。

Interview with Multicultural People

A multicultural person, who has different ethnic backgrounds, is often called a *Hāfu* (half) in Japanese. Three *Hāfu* people living in Manila share about their ethnic and cultural backgrounds and experiences.

Photographer: Sean Aleta

川崎真亜沙さん
Maasa Kawasaki

池田美幸さん
Miyuki Ikeda



「ハーフ」と呼んで 全く問題ありません。

横田ジャン・リュックさん

ファーイースタン大学（ホテルマネジメント専攻）在学中。実家はマカティ市リトル東京の「お好み焼き神楽」。名前は映画好きのお父さんがフランスの映画監督にちなんで命名。「アコースティックギターをコロナで再開しました。よく尾崎豊の曲を弾きます」

Jean Luc Yokota

Far Eastern University student majoring in hotel management. His first name 'Jean Luc' is named after French film directors as his Japanese father likes movies. 'I enjoy playing the acoustic guitar in my spare time during the pandemic.'



Manila with my mother when I was at a junior high. My mother had a good Filipino friend in Nagasaki. Having lived in Cape Town, South Africa and Tokyo, I came to Manila in 2011.

「ハーフ」という呼ばれ方についてどう思いますか？

池田 ダブルという呼び方もあるみたいですけど、これまで通り日本と外国のハーフでいいと思いますね。テレビでもハーフタレントとか、いい意味で使われていると思うので。

横田 これまで自分のことをフィリピンと日本のハーフと紹介してきたので、ハーフのまま問題ないと思います。

川崎 私もずっとフィリピンと日本のハーフって言ってきたので、これからもハーフでいい。ミックスという言い方もあるようですが、なんか犬の種類の呼び方のように……。「何人？」って聞かれて、ハーフなのにどちらか1つの国籍だけに答えを固めなきゃいけない感じの質問は嫌ですね。

How do you feel about being called Hāfu in Japanese?

Ikeda Some call a Hāfu Japanese a 'double'. But I think 'Hāfu' is not a derogatory word to us. A Hāfu Japanese is a positive image as Hāfu Japanese celebrities appear on TV.

Yokota I agree with her. I have introduced myself as a Hāfu and will keep on that.

Kawasaki I heard the word 'Mix' instead of 'Hāfu'. 'Mix' sounds like a dog breed so I am more comfortable being called a Hāfu.

一国籍は？

川崎 日本国籍です。5歳まで日本人として育って、第1言語は日本語なので。父からも日本国籍をすすめられました。

池田 私も日本語が第1言語なので日本国籍を選びました。旅行が好きなので、日本のパスポートは海外旅行に有利ということも考えました。

横田 今はフィリピンと日本の二重国籍ですが、もうすぐ選択の年齢。やはり第1言語が日本であること、そして日本のパスポートを持つ方が何かと有利だ



と思うので、日本国籍を選ぶと思います。

What is your nationality?

Kawasaki I chose Japanese citizenship. I was raised as a Japanese and my first language is Japanese. My father also advised me to have a Japanese nationality.

Ikeda I also chose Japanese nationality in the light of my first language. I love traveling. Holding a Japanese passport is a privilege when traveling overseas.

Yokota I currently have dual citizenship of the Philippines and Japan but have to choose one

soon. I will choose a Japanese citizenship when the time comes.

—何カ国語できますか？

池田 日本語と英語です。話すのも、読み書きも日本語の方がいいですね。タガログ語はだいたい聞き取れます。

横田 日本語、タガログ語、英語ができますが、タガログ語は読み書きはパーフェクトじゃないです。母も日本語を話すので会話は日本語とタガログ語のミックスですね。英語はインターナショナルスクールで習得しました。韓国人の友達も多いので今、韓国語を勉強しています。

川崎 私も日本語、英語、タガログ語を話します。あと大学で習ったドイツ語、イタリア語、スペイン語で歌うことができま



す。読み書きは英語かタガログ語の方がいいですね。子どもの頃、日本人の方によく「英語とタガログ語ができるんだから、日本語の読み書きは勉強しなくていいよー」と言われてその通りにしたんですが……。今、とても後悔してます。

What languages do you speak?

Ikeda Japanese and English. I prefer Japanese for reading and writing. I understand what a speaker says in Tagalog most of the time.

Yokota I speak Japanese, Tagalog and English, but my reading



池田美幸さん

会社役員。今月10月に第1子を出産予定。「ネット通販のラザダでベビー用品を買いまくっています」

Miyuki Ikeda

Director of a holdings company. Miyuki is due to give birth to her first baby right around the corner this October. 'I enjoy a baby goods shopping spree on Lazada now.'

and writing skills in Tagalog are not perfect yet. I talk to my mother in Japanese and Tagalog. I acquired English proficiency at the international high school. I now learn Korean because I have many Korean friends.

Kawasaki I also speak Japanese, Tagalog and English. I can sing in German, Italian, Spanish which I learned at college. I am not good at reading and writing in Japanese. When I was a child, many Japanese said to me, 'You don't need to study Japanese writing and reading as you are a bilingual of Tagalog and English.' I obeyed what they said, but I regret not having studied Japanese reading and writing.

—ハーフであることで嫌な思いをしたことは？

横田 小学校の時に容姿や文化の違い、日本語ができないことでからかわれたりしたことはありました。ローカルの幼稚園に通っていたので小学校に入った時は日本語ができず、3年生までは特別クラスで学びました。

川崎 日本にいた時はいい思い出ばかり。フィリピンに来てから12歳頃、自分のアイデンティティーに悩みました。父にフィリピン人みたいになると言われ、学校で日本とフィリピンを比べて、「日本の当たり前」を押し付けて友達をなくしたこともある。そんなことから根暗でネ

いじめられたら、「喧嘩上等」。



川崎真亜沙さん

ナビマニチャンネル制作担当&MC。
セント・スコラスティカ・カレッジ
(声楽専攻) 卒。実家はご存知「居酒屋 川崎」。「ゲーム『リトルナイトメア』
全クリア達成しました!」

Maasa Kawasaki

Video planning and MC, NaviMani
Channel. St. Scholastica's College
College graduate bachelor's
degree in music performance
major in voice.
'I finally cleared all levels of the
game Little Nightmare!'

ハーフがいて普通なのが、
フィリピン。

ガティブな人間になった時期があります。あと、就職の時にバイリンガルとして採用されてから、日本語の読み書きが十分にできないという理由で、低い給料で働くことになったこともありました。

池田 長崎で小学校低学年の頃は、目が大きいおぼけと呼ばれていじめられた。でも私はケンカが強かったから、いじめられることはなくなりました。

Did you have bad experiences as you are a Hāfu?

Yokota I was made fun of in the primary school because of my appearance, cultural difference and poor Japanese language.

Kawasaki I had fond memories in Japan. After moving to the Philippines, when I was about 12 years old, I suffered from my identity crisis. I did not understand the cultural difference between Japan and the Philippines. I lost friends and became negative and pessimistic. When I was employed by a company as a bilingual speaking staff, I was paid less compared to the standard offers for the bilingual position due to my insufficient Japanese reading and writing skills.

Ikeda In the lower grades at a primary school in Nagasaki, I was bullied by being called a big-eyed ogre. But I was a great fighter and stopped the bullying.

「ハーフでよかったと思うことはありますか？」

横田 子どものころは100%日本人じゃないことで、他人を妬んだこともありました。でも大人になってから考えが変わりました。ハーフでよかったと思います。小さい頃からフィリピンと日本の両方の文化を経験できたこと、国際的な共通語の英語を身に付ける環境で育ったのは恵まれていると思います。

池田 私の場合は、どの国に行っても現地の人だと思ってもらえること。フィリピンにいたら、フィリピン人、米国にいたら米国人だと思われて、すぐその国になじむことができるのがよかったと思う。

川崎 フィリピン人としても、また日本人としてもコミュニケーションができることは、ハーフとしての私の強み。またハーフであることで社会に出てから仕事の選択肢が広がったと思います。

Are you glad you are a Hāfu?

Yokota When I was a child, I was jealous of ordinary 100 % Japanese. But as I grow up, I realize I am glad to be a Hāfu, learning two different cultures and acquire a global language English in the Philippines.

Ikeda Yes, wherever I go, I am accepted like a local there. In the Philippines, people recognize me as a Filipino, in the US, people recognize me as an American. I can adapt myself to new environments well.

Kawasaki I can communicate with people as either a Filipino and a Japanese. It's my advantage. As a Hāfu, I have more job opportunities.

「パートナーはハーフがいい？」

横田 こだわりません。

川崎 昔はハーフがいいと思ってました。自分といろいろなことを分かち合えるのはハーフだと思ってたので。いろいろな人に会って、自分と似た境遇の人にも会ってからは、ハーフ

でなくてもいいと思うようになりましたね。大切なのはやはり人柄、異文化との向き合い方など。ただ、1つの国だけでなく、海外にも目を向けて、いろいろな国のことを知っている人がいいです。

池田 私は日本人と結婚しました。それまで外国人としか付き合ったことがなかったんですけど、やはり日本人と日本語で会話している方が楽なんです。私はテレビが大好きで、いっしょにテレビ見てもあれこれ説明する必要がないのはいいなと。だから日本人と結婚しました。

Do you prefer a Hāfu person to be your partner?

Yokota I don't mind at all whether my partner is a Hāfu or not.

Kawasaki There was a period when I preferred Hāfu as my future partner because we would have a lot in common. But now, personality and the way of coping with cultural differences is more important.

Ikeda I got married to a Japanese national. I have dated some foreign nationals before, but I realized I felt more comfortable being with a Japanese partner and talking in Japanese. What I love is watching Japanese TV programmes and most of all it was nice not to have to explain what

is going on in the program and watch TV together.

ーフィリピンはハーフの人に住みやすい国だと思いますか？

横田 明るく、誰でも受け入れてくれるフィリピンの国民性のおかげで住みやすいです。この先、海外での就職も考えていますが、フィリピンで就職して住むということも視野に入れています。

池田 東京からネガティブなストレスためたまふ初めてフィリピンに来た時は、本当に楽しかった。私がハーフだからということとは関係なく、経済成長の一方で、おだやかでのんびりとしていたマニラの街も人も変わっていくのを見ると、ちょっと残念に思うこともあります。

川崎 フィリピンにはハーフが多いし、メスティサ、メスティソとして受け入れてくれる。学校ではクラスのマドンナ的な存在がハーフ。日本ではハーフっていうと「これ食べることできる?」「言ってることわかる?」と妙に気を使われる。その点、フィリピンはハーフがいて普通の環境なので住みやすいと感じます。

Is the Philippines a livable country for Hāfu people?

Yokota Yes, it's because Filipino people welcome anyone. I think about working overseas in the future, but also consider finding a job and staying in the Philippines.

Ikeda When I came to the Philippines ten years ago from Tokyo, where I had a stressful life, I was very happy to be in Manila. However, I sometimes feel sorry now to see the laidback atmosphere of the city and people changing in exchange for its economic growth.

Kawasaki There are a lot of Hāfu in the Philippines and they are socially accepted as mestiza and mestizo. At most schools, the most popular girl in class is a Hāfu. In Japan, people are too careful with me, asking, 'Can you eat this?' and 'Do you understand what I say?' I feel comfortable to be in the Philippines.

※この鼎談の動画をナビマニチャンネルで11月公開予定。
The video of this interview with English subtitles will be uploaded to NaviMani Channel in November 2021.



毎日が異文化
コミュニケーション!?

フィリピン在住の 国際結婚カップル

インタビュー

人生の伴侶に外国人を選んだ国際結婚カップルは、まさに毎日の生活が異文化コミュニケーションなのでは？ ということで、なれそめからカルチャーショック、夫婦円満の秘訣などを聞きました。

Interviews with International Marriage Couples in the Philippines

International Marriage Couples must be an expert of intercultural communication because their daily lives are all about intercultural communication! Navi Manila asks them about the path to marriage, culture shock and keys to a happy international marriage.

(文中敬称略)



ジョイ・バヒランガ・
ナカムラさん



中村雅一さん

—なれそめは？

雅一 日本のカトリック教会で知り合った友人の奥さんが、今の家内の叔母。彼女に紹介されて、当時はまだインターネットが普及しておらず、国際通話も高かったので、基本、手紙などによる日本とフィリピンの遠距離恋愛でした。1997年のお盆休みにネグロスの友人宅に遊びに行った時、バコロドの空港で初めて会って一目惚れ状態。結婚までの交際期間は8カ月（そんなに短かったのか〜！）でした。
—第一印象は？

雅一 私が以前に持っていたフィリピン女性のネガティブなイメージをすべて覆すほど、真面目でキッチリした性格。それに加えて、フィリピン人らしい美質もある。

ジョイ 信頼できてやさしそうだなと思いました。知的で読書家、仕事でいろいろな国に行ったことがあり、話題も豊富。いっしょにいて楽しいところに惹かれました。

—結婚の際に大変だったことは？

雅一 母親のフィリピン人への偏見が強烈で、当初は大反対。

ジョイ 父は文化の違いや一人娘が遠い海外で暮らすことになると心配して、私が外国人と付き合うことは、初めは好ましく思っていませんでした。

—フィリピンで暮らそうと思われた理由は？

雅一 私の日本での生活、主に某電機メーカーの工業デザイナーとしての仕事が精神的に辛くなり、2013年に移住しました。—家庭での言語は？

雅一 最初の数年は英語。家内が日本語を習得した後は、子どもも含めて日本語。

—カルチャーショックの経験は？

雅一 私がフィリピンに慣れていったことと、家内が時間、金銭、対人感覚などにおいてフィリピン人らしからぬ（？）性格で違和感がなかったの、これと言ったカルチャーショックはありませんでした。家内はあるようですが（笑）

ジョイ 最初、彼がすごく速く歩くのが嫌で、一緒に歩くといつも息が切れました。でも、日本にしばらく住んでみたら、私も早歩きになりました。また、彼はヘビースモーカーだったんです。私がタバコをやめるように言って、やめてくれたのはうれしいです。

—国際結婚に大切なことは？

雅一 最初の頃から国際結婚という意識がなく、夫婦一般として大切なこととして、愛情表現をしっかりすることだと思います。言葉や態度で。これは日本人同士でも変わらないでしょう。それと同時に、不満をためないこと。ちゃんと口頭で伝えるの

遠距離恋愛、一目惚れ、禁煙。 カルチャーショック皆無

Love at First Sight. No Smoking. No Culture Shock.

が大事。
ジョイ 辛抱です。

How did you come to know each other?

Masakazu: I met Joy's aunt at a catholic church in Japan. She introduced Joy to me, and we started a long-distance relationship between the Philippines and Japan. Visiting a friend of mine in Negros in the summer, 1997, I met her in person for the first time at the Bacolod-Silay International Airport. I felt in love with her at the first sight. We had been in a relationship for eight months before getting married.

What was the first impression of your partner?

Masakazu: Joy overturned my negative perception of Filipino women as she was honest, neat, and have a good trait as a Filipino.

Joy: The first time I saw him in 1997, he seemed to be a trustworthy and kind person. He is intelligent, having read so many books and has traveled a lot throughout his career. He can talk about a lot of topics and I found this really appealing. He can be fun to be with if he chooses to.

What were the challenges before getting married?

Masakazu: My mother had a prejudice against Filipino people and strongly objected to my marriage.

Joy: At first, my father did not want me to be in a relationship with a foreigner, considering cultural differences and the possibility of his only daughter living so far from home.

Why did you decide to settle in the Philippines?

Masakazu: It's because I was worn out from a stressful life as

an industrial designer at an electric appliance company in Japan. I migrated to the Philippines in 2013.

What is your language of communication at home?

Masakazu: We communicated each other in English for a few years after getting married. Now Joy, our son and I speak Japanese at home as Joy learned Japanese.

Did you have any culture shocks?

Masakazu: I had no culture shocks because I understand what the Philippines and Filipino people are like. I am relieved to know that she is punctual and responsible with money.

Joy: At first I hated him walking too fast. I always had to catch my breath when we walked together. But after living in Japan for a while, I also acquired the habit. He used to be a chain smoker but quit smoking with my encouragement. I was so happy that he quit smoking.

What's the secret to a happy international marriage?

Masakazu: It's important to express your affection with words and attitude to your partner whether you are an international marriage couple or not. Be sure to set aside time for talking to your partner before getting fed up with your him / her.

Joy: All you need is patience.



ジョイ・パヒランガ・ナカムラさん

教育省シライ事務所勤務。西ネグロス州シライ市出身。

中村雅一さん

(カトリック洗礼名フランシスコ・ザビエルさん)

フィリピンでの通称フランシス。フリーランス・イラストレーター、ブロガー。
兵庫県尼崎市出身。

結婚23年目。男の子(グレード9)1人。

Joy Pahilanga Nakamura

Project Development Officer, Schools Division of Silay City,
Department of Education, Hometown: Silay city, Negros Occidental, Philippines

Masakazu Nakamura Francisco Xavier

Illustrator, Blogger, Hometown: Amagasaki City, Hyogo Prefecture, Japan

Joy and Masakazu have been married for 23 years. They have a son,
who is now in the 9th grade of secondary school.

Photo Courtesy of Masakazu Nakamura Francisco Xavier



アリエル・
ヘロニモさん



野村幸代さん

―なれそめと第一印象は？

幸代 会ったのは広島。大学4年生だったとき、友人に誘われてフィリピンへのスタディツアーに参加したら、広島大学大学院に留学していた彼がガイドでした。第一印象は、気さくな感じの人。

アリエル 第一印象は「若い子」。スタディツアーの参加者は皆さん年配の人だったので。

―結婚を決めたきっかけは？

幸代 付き合っていた期間が長かったので、自然に結婚するのだろうと思っていました。一緒に

にいて退屈しなかったので、結婚してもおもしろいかと。

アリエル 付き合い始めた時から、結婚しようと思っていました。

―結婚の時、大変だったことは？

幸代 交際は親にオープンにしていたし、彼に会ったこともあったので、結婚は反対されませんでした。ただ、当時は2人ともフィリピンにいたので、夫から私の両親に結婚させてくださいという手紙を書いてもらいました。親からはよろしく願いますという返事が来ました。

義父の父親は、戦時中に日本軍に拷問を受けて病院で亡くなっています。でも、夫の家族から日本人の私との結婚に反対

はされませんでした。結婚後、義父は戦時中の日本人には悪い人もいたけどいい人もいたと、私に話してくれました。戦中、まだ小さな子どもだった義父を近所の日本人が手招きして、おいしい食べ物をくれることがあったと聞きました。おそらく嫌な経験もあったでしょうが、義父は私には日本人の悪いことを一切話すことはありませんでした。気を遣ってくれていたのだと思います。その義父は亡くなり、今は義母と同居しています。

―フィリピンで暮らそうと思われた理由は？

幸代 私がフィリピンに来たのは1994年、フィリピン大学に留学するためでした。ちょうどそ



アリエル・ヘロニモさん

日系企業勤務。ブラカン州バリワグ町出身

野村幸代さん

高校教員。広島県広島市出身。ブラカン州バリワグ町在住。

日本で2年、フィリピンで5年の交際期間を経て1999年4月に結婚、今年で23年目。「21歳と18歳になる息子2人は今、広島にいます。上の子は大学4年生で、下の子は今年5月にフィリピンの高校を卒業し、大学受験準備中」。

Ariel Geronimo

Operations Manager, Hometown: Baliwag, Bulacan, Philippines

Yukiyo Nomura

High School Teacher, Hometown: Hiroshima City, Hiroshima Prefecture, Japan

Ariel and Yukiyo have been married for 23 years, residing in Baliwag, Province of Bulacan. They have two sons living in Hiroshima, a 21-year-old college senior and 18-year-old high school graduate preparing for college.

Photo Courtesy of Yukiyo Nomura

の頃、彼は日本での留学を終えてフィリピンに戻ってきたので、結婚前に5年ほどフィリピンで付き合い、結婚の時は2人ともフィリピンで仕事をしていました。なのでフィリピンから移動する選択肢は考えませんでした。もともと、夫は日本の企業中心社会より、フィリピンの家族中心社会のほうがいいという考えだったこともあり、フィリピン在住となりました。

一家庭で使う言語は？

幸代 夫と私は日本語とフィリピン語のミックス。夫は日本語ができ、私はフィリピン語がわかるのであまり何語を話しているか意識しません。ただ、息子たちには、「ママと話すときは必ず日本語で話さない」と言って育てました。なので家庭内では日本語のほうが多かったかもしれません。

一カルチャーショックの経験は？

幸代 結婚後フィリピンで出産した時に、いろいろなしきたりや迷信があったこと。産後はすぐにシャワー

を浴びてはいけなとか、授乳する時は右から先に飲ませるように、なぜなら、右がご飯で左がおかずだからとか。また子育ての違いもあり、私は子どもが自分で食事をするようにしたいのに、お手伝いさんやおばあちゃんが、ご飯をスプーンで子どもの口まで運んでしまうといったことに、文化の違いを感じました。

アリエル 日本で付き合いはじめた頃、彼女がビールをよく飲むことがショックだった。

幸代 私はとくにお酒好きでも強いわけでもありません。大学のイベントで普通に飲んでいただけなのに、彼はショックだったそうです。一幸せな国際結婚に大切なことは？

アリエル 信仰を持って一緒に祈ることです。

幸代 ただ好きという感情とかよりも、一生、一緒にやっていくという意志。必要以上に自分を理解してほしいと期待しすぎ

ないこと。彼が言う通り、確かに一緒に祈っていると、けんかをしません。

How did you come to know each other? and what was your first impression of your partner?

Yukiyo: I met him in Hiroshima when I was a fourth-year student at a university. He was a post-graduate student at Hiroshima University and worked as a guide for the study tour in the Philippines, in which I took part. I thought he was a friendly person.

Ariel: When I saw her for the first time, I found there was a young girl among the elderly in the study tour.

How did you decide to get married?

Yukiyo: I expected we would get

anese. He was thoughtful for caring about me. My father-in-law already passed away. We now live with my mother-in-law.

Why did you decide to settle in the Philippines?

Yukiyo: We both worked in the Philippines when getting married and did not intend to leave the country. My husband preferred 'Philippines' family-oriented society' to 'Japan's company-oriented society'. It's a reason why we decided to stay in the Philippines.

What is your language of communication at home?

Yukiyo: My husband and I speak mixture of Japanese and Filipino language. As he speaks Japanese and I am a Filipino speaker, we don't mind what language we speak to communicate with each

other. However, I told my sons to speak Japanese when talking to me.

Did you have any culture

フィリピン暮らしの決め手。 何よりも家族が中心の社会

Family Comes First. That is Why We Decided to Live in the Philippines.

married as we had been in a relationship for years. I really enjoyed being with him and I believed my life after marriage would be exciting.

Ariel: I decided to marry her when we started dating.

What were the challenges before getting married?

Yukiyo: My parents knew we were dating and approved of our marriage. As we lived in the Philippines, he wrote a letter to my parents to ask for permission to marry me. They replied to him, 'Yes, please take a good care of her.'

His grandfather was tortured to death by the Japanese military during the war. Despite this fact, our marriage was approved by his family. My father-in-law sometimes talked to me about his experience during the war when he was a little boy, but he never spoke out against the Jap-

shocks?

Yukiyo: I was surprised at a lot of customs and superstitions after giving birth to my sons in the Philippines. Don't take a shower just after childbirth. Breastfeed the baby from the right breast first, and so on.

Ariel: I was shocked to see her drink beer.

Yukiyo: I am not a drinker. I had some beer in an event at my university.

What's the secret to a happy international marriage?

Ariel: Having the same faith and praying fervently together.

Yukiyo: I think it's more important to have a will to live together rather than just loving each other. It's better not to get your hopes up if your partner does not understand you as you expect. To be honest, we don't have an argument if we pray together.



リノ・
デセンブラーナさん



デセンブラーナ
悦子さん

—なれそめは？

悦子 1989年に国費留学生としてフィリピン大学ディリマン校に留学していた時、コラソン・アキノ政権でその年の12月にホナサン大佐（現情報通信技術省長官）によるクーデターがありました。そのためケソン市に住んでいた彼はマカティの会社に出勤できず、下宿にいました。そのとき彼が近所の下宿の人たちと知り合いになり、私が1月にその下宿に引っ越した時に紹介されて会ったのが初

れてくれたから。それから彼女は賢くて気軽に付き合える人でした。—結婚の際に大変だったことは？
悦子 夏の帰省時に彼が田舎の祖母の家に電話をかけてきたことがあって、祖母が「そんな人はうちにはいません」と言って電話を切ろうとしました。「おばあちゃん、それは私あて？」と聞いたらそうだと。電話が終わった後に祖母に「まいった、まいった。かわいい孫をそんな外国には嫁にやらんと思って、切ろうかと思ったけど、バレたな」とガハハと笑っていました。それでも祖母はその時代の生まれの人にしては斬新な人だったので、大っぴらに反対したことはありません。両親にも「最

学を勉強していた義妹が、「お義姉さん、今日からここに住むからよろしく。私はこの部屋使うわね」とって押しかけてきました。おかげでいつも賑やかで楽しかったですし、義弟や義妹たちのことは大好きですが、日本ならありえないですね。

リノ カルチャーショックというほどのことはありませんでした。箸の使い方や、ひじをテーブルに置かないということぐらいかな。—幸せな国際結婚に大切なことは？

悦子 お互いに尊敬の念をもって接すること、相手のことを変えようとしないこと、感情にまかせて怒らないこと、それぞれの趣味についても尊重することだと思います。一緒に住んでいれば、どんなに良い相手でも不満なことは出てきます。彼の方も私に対して不満は多くあると思いますが、声を荒げられたことはないです。またフィリピン人の男性は「家事をしてもらうために結婚したわけではない」という人が多いように思います。お互いにできることを分担してやるのが家庭円満の秘訣だと思います。

リノ お互いの文化や、キャリア、興味などを尊重すること。お金のことや子供の育て方で口論せずお互いに支え合うこと。

Where did you come to know each other?

Etsuko: In December 1989, when I was studying in UP Diliman, as an exchange student on Japanese government's scholarship, the Coup d'État by Gregorio Honasan happened. At that time Lino had to stay in his boarding house in Quezon City as he could not go to the office in Makati. When I moved to a boarding house near their place, Filipino friends introduced him to me, and we became friends. If the coup hadn't taken place then, we would not have come to know each other.

What was your first impression of your partner?

Etsuko: My first impression of him was that he was a serious, but funny and a good man. That

クーデターが縁結び!? 新婚家庭に当地流の洗礼？

It's the Coup That Arranged Us to Meet Each Other.

対面。その後友達になりました。クーデターが起こらなかったら、知り合うこともなかったかもしれません。

—第一印象は？

悦子 私はフィリピン人男性はすぐに女の子を口説いたりして嫌だと思っていたので、絶対フィリピン人男性とは結婚したくないと思ってました。しかし、彼は人間として友達として対等に扱ってくれたので、安心感がありました。まじめでおもしろくて、いい人という印象でした。それは今でも変わりません。

リノ 私は友達になりたかっただけです。

—結婚のきっかけは？

悦子 私が留学後に帰国した後は遠距離で2年半交際して結婚しました。インターネットがない時代なので、手紙を送っても届くのは1週間後。たまに電話をするにも国際電話用の特殊な公衆電話（緑色で前面が金色のもの）からという時代です。この人と一緒に人生歩みたいと思って、相手もそう言うてくれるからってことで、結婚に至りました。

リノ 自分自身をそのまま受け入

初に娘を嫁にくれと言ってきた人に嫁にやるのがうちの方針」と言われ、反対されませんでした。また彼と日本に行った時、実家で飼っていた犬が他人にはなつかないのに、彼に対してはまったく人見知りしなかったことも決め手になったかもしれません。

リノ 私の両親も疑念や心配の気持ちを口にすることはなかったです。

—フィリピンで暮らそうと思われた理由は？

悦子 1992年の結婚直後からフィリピンに住んでいます。私は英語もフィリピン語もできるので、フィリピンで暮らし、働くこともできると思いました。彼はフィリピンで事業をやっていましたし、彼が日本へ行っても望むような仕事に就けるとは思えなかった。—一家庭での言語は？

悦子 フィリピン語（タガログ語）と英語。

—カルチャーショックの経験は？

悦子 結婚数カ月の時、突然義父が高校を卒業した義弟を連れてきて「高等教育はマニラで受けさせるので、ここに住ませるから」と宣言されました。その後も医

actually has not changed, even now. Honestly, I did not want to get married to a Filipino man because Filipino guys usually easily flirt with women. But I felt secure as he treated me as a friend, as an equal human.

Lino: I just wanted to become friends with her. That's all.

How did you decide to get married?

Etsuko: After my study in UP, I went back to Japan. We got married after we were on long-distance relationship for two and a half years by exchanging air-mails and occasional international calls. As we both wanted to spend our lifetime together, so we got married.

Lino: She accepted me just as I am. Besides, she was smart, intelligent, and a casual person.

What were the challenges before getting married?

Etsuko: My grandmother once rejected a phone call from him as she did not want me to marry a foreigner. But she did not oppose my marriage. My parents said, 'It is our family policy to give our daughter's hand to the first man who asks for it.' When he came to Japan for the first time, our not so friendly pet dog didn't react, as if they'd known each other already. It was also a big plus.

Lino: My parents did not have any misgivings.

Why did you decide to settle in the Philippines?

Etsuko: We have been living in the Philippines since we married in 1992. As an English and Filipino speaker, I believed I would be able to live and work in this country. It's better for us to stay here as he had his own business rather than going to Japan where he might face difficulty in looking for a job at that time.

What is your language of communication at home?

Etsuko: We speak in Filipino (Tagalog) and English. With children, I also use Japanese.

Did you have any culture



リノ・デセンブラーナさん
実業家。ケソン州アティモナン市出身。

デセンブラーナ悦子さん
日英・タガログ語通訳・翻訳家。大阪府出身。
本誌に「フィリピン・ワールド フィリピン語アレコレ」連載中。

1992年に結婚、今年で29年目。「子どもはフィリピン大学ディリマン校卒業した娘と、現在マブア工科大学機械工学部在学中の息子の2人、すでに成人しています。写真は私が旦那を尻に敷いてます感満載ですが、彼が『縁の下力持ち』なだけですよ、ね？」

Lino Desembrana
Businessman, Hometown: Atimonan, Quezon, Philippines

Etsuko Desembrana
Tagalog, English, Japanese Interpreter and Translator, Hometown: Osaka, Japan
Lino and Etsuko have been married for 29 years. They have a daughter, a UP Diliman graduate and a son, a Mapúa University student. Etsuko says, 'Umm.... the picture looks as if my husband were under my thumb at home but he is more like the wind beneath my wings, I guess...?'

Photo Courtesy of Etsuko Desembrana

shocks?

Etsuko: About a few months after we married, my father-in-law suddenly came to our apartment with my brother-in-law, and said, 'He will go to a school in Manila so he will live here.' He stayed with us for two years. Then, when my sister-in-law was a medical intern, she also came to stay with us. I love them and it was fun to have them with us, however, it usually won't happen in Japan that a brother or a sister suddenly come to live in a newly wed's home.

Lino: Culture shock? Yes, but nothing major. Mostly how to use chopsticks properly, or not to put elbows on the table, etc.

What's the secret to a happy international marriage?

Etsuko: I think what is important is to be considerate to each other, not to try to change your partner, and not to throw a fit just because you are upset. Respect interests of your partner, too. If you live together, we naturally tend to find some faults with one another. He might have complaints about me, but he never raised his voice at me. I think, in general, Filipino husbands do not marry to "have someone do all the household chores". It's good to share the work between husband and wife.

Lino: Respecting each other's culture, career path, interests, etc. Not arguing about finances and how to raise children but supporting each other.

出会いは共通の興味。 生活は文化の違い満載

Connected by the same interest.
Living with Cultural Differences.



蝶谷正明さん



クラウディア・
ボイクマンさん

—なれそめは？

正明 最初に会ったのは1990年、スリランカのアヌラダプラでの遺跡発掘プロジェクト。所属するチームは違いましたが、同じ地域で活動していて知り合いました。当時スリランカは内戦中でした。

—第一印象は？

正明 もの静かだけれども、はっきり主張するという印象でした。

クラウディア 話しておもしろく、考古学という共通の興味を持っていたと感じました。

—結婚に至る経緯は？

正明 出会った翌年から交際し、私はスリランカ、彼女がドイツでアエログラム（航空書簡）をやり取りしての遠距離恋愛。その後、彼女が再びスリランカへ来て一緒に暮らしている時、彼女が飼っていたシマリスが死んでしまい……。嘆き悲しむ彼女を慰めている時にプロポーズしました。スリランカから国際電話で双方の親とスリランカ在住の友人に報告し、披露宴に来て祝福してくれました。

クラウディア 交際していたのは1年ですが、ほとんど離れ離れだったので一緒にいたのは実質約6週間。結婚相手にふさわしい人だと思いました。

—フィリピンを選んだ理由は？

正明 私の親がいる群馬県富岡市に夫婦で12年住んでいた時、彼女と私は海外移住を考えていました。フィリピンはやめようと思っていたのですが、子どもが世界共通の大学入学資格プログラム「国際バカロレア」（IB）

が取得できるインターナショナルスクールがセブにあり、日本やほかのアジア諸国より学費が安かった。そこで私がセブを視察した後、2007年に移住しました。当時小学生の娘と息子は反対でした。

セブに移住後、娘は高校から日本へ戻り、大学、就職、結婚も日本。息子はIBを取得しましたが料理の道へ進むと言い出し、妻の「それならば大学へ行くより現場で経験を積むべき」という鶴の一声で、ドイツのホテルに就職しました。今は英国のミシュラン星付きのレストランで副料理長をしています。

—家庭での言語は？

正明 妻とは英語で、子どもとは日本語で会話します。

クラウディア 夫は英語、娘は英語と日本語、息子は英語、ドイツ語を話します。

—カルチャーショックの経験は？

正明 妻の子どものしつけ、特にマナーに厳しいこと。例えば食事の時に背筋を丸めていると激しく叱責しました。今だったら幼児虐待だと思われるかもしれません。日本在住時は、日本的感覚とのギャップに当惑しました。また、はっきりと自己主張することにも文化の違いを感じました。何か飲みたい時は

①具体的に何を飲みたいのか？

②誰が用意するのか？③急ぐのか急がないのか？といった具合です。

クラウディア 日本人の感覚では、相手の思っていることを察しますが、コミュニケーションが足りないと感じました。また、西洋ではお互いに触れ合うことが好まれますが、日本ではスキンシップが足りない。

正明 日本人はハグなどのスキ

ンシップは慣れないので、最初の1、2年であきらめてくれたようです。

Where did you come to know each other?

Masaaki: We met each other in Anuradhapura, Sri Lanka in 1990, where we were involved in a ruins excavation project. We belonged to a different team but worked at the same site. It was in the middle of the Sri Lankan Civil War.

What was your first impression of your partner?

Masaaki: She was quiet but spoke up when necessary.

Claudia: He was interesting to talk to and it looked as if we had the same interests in archaeology.

How did you decide to get married?

Masaaki: We were in a long-distance relationship between Germany and Sri Lanka. We exchanged aerograms. After she was back to Sri Lanka, we lived together. When she grieved the loss of her pet squirrel, I comforted her and proposed to her. We called our parents and friends to inform our marriage and they came to Sri Lanka to attend our wedding reception.

Claudia: Technically for a year we were in a relationship before marriage, but we were apart most of that time. Actually it was about six weeks that we were together. I knew that he was the right one.

Why did you decide to settle in the Philippines?

Masaaki: We used to live in Gumma, Japan for 12 years and



クラウディア・ボイクマンさん

英語・ドイツ語講師。ドイツ中西部ノルトライン＝ヴェストファーレン州
メンヒェングラートバッハ出身。

蝶谷正明さん

セブ日本人会理事、日本人補習授業校校長。東京生まれ横浜育ち。
著書『古代装飾トイレの謎—仏教と遺跡めぐり』(TOTO出版)。

本誌で「セブ通信」連載中。

「結婚29年目。日本在住の娘(27歳)と英国在住の息子(25歳)がいます。昨年3月、息子が英国に招待してくれるというので夫婦で楽しみにしていたらコロナ禍で延期になりました」

Claudia Beukmann

English and German Language Teacher

Hometown: Mönchengladbach, Nordrhein-Westfalen, Germany

Masaaki Choya

Director, Japanese Association Cebu, Inc., Principal, Cebu Japanese School

Hometown: Tokyo and Yokohama, Japan

Masaaki and Claudia have been married for 29 years, residing in Cebu since 2007. They have a daughter living in Japan and a son working in the UK.

Photo Courtesy of Masaaki Choya

wanted to emigrate overseas. Honestly, we did not think about the Philippines as a destination. But we chose Cebu because we wanted to our children to study at the Cebu International School offering International Baccalaureate, a.k.a. IB, programs for reasonable tuition fees. Our children who were at a primary school then and protested against our migration from Japan. My daughter went back to Japan to go on to high school and college and got married in Japan. My son got an IB but decided to be a chef instead of going to college. As my wife advised, he got a job at a hotel in

Germany and now he is a sous chef at a Michelin-starred restaurant in the UK.

What is your language of communication at home?

Masaaki : I speak English when talking to my wife, and Japanese to children.

Claudia: Husband: English, Daughter : English/Japanese, Son: English/German

Did you have any culture shocks?

Masaaki : I was surprised to see how strict she disciplined children, especially training them in good manners. She scolded at them loudly when they had bad posture when dining. I also felt a

cultural difference when seeing she was assertive unlike Japanese. For example, when she wants something to drink, she says clearly what to drink, who serves it, Whether it's in a hurry or not.

Claudia: The lack of communication, when it comes to feelings on the Japanese side. Japanese always seem to think one already knows or can read their emotions, and also the lack of touch. Most Westerners love to touch each other. It is still a work in progress....

Masaaki : I was not used to hugging and being touched.....she gave up lacking in touch.

Deretso lang!

デレッチョ・ラン!
(真っすぐ行って!)

フィリピン語 アレコレ



スペインのtocino



フィリピンのtocino



スペインのturrón



フィリピンのTuron

スペイン語由来のフィリピン語

意味が変わった言葉も

みなさん、こんにちは。Kumusta kayo? この「クムスタ? (元気?)」という挨拶は、スペイン語の挨拶¿Cómo está?から来ています。フィリピンは300年以上もスペインの植民地だったので、語彙の20~30%がスペイン語由来だとも言われます。

1940年にタガログ語のアルファベット「アバカダ」ができた際に、スペイン語の綴りもアバカダに統一され、cはk, chはtso, ieがyelになるなど、綴りは変えられましたが、そのまま定着している語彙も多くあります。例えば車を表すkotse (コチェ) はスペイン語のcocheから、「おやつ」を表すmeryenda (メリエンダ) はmeriendaから来ています。

あの地名も?

地名にもスペイン語から来ているものがあります。Los Baños (ロス・バーニョス) は「浴室」の複数形です。温泉地であることから来ているのかもしれませんが。Las Piñas (ラス・ピーニャス) はパイナップル。昔は産地だったのかもしれませんが。

フィリピン最大の湖、ラグナ湖のlagunaとはラグーン、潟湖 (せきこ) のこと。しかし正式名称はLaguna de Bayです。このBayは英語の「湾」ではなく、「バイ」という地名です。つまりラグナ湖ではなく「バイ湖」が本来の名称です。しかし今ではフィリピン人もLake Laguna (ラグナ湖) と呼んでいます。長く使われるうちにこちらの方が一般的になってしまったというわけです。

フィリピン人が「もちろん!」と言う時は「Syempre! (シェンブレ)」と言います。しかし実はスペイン語のsiempreは「いつも・いつまでも」という意味です。またフィリピン語で「了解」とか「じゃあね」という意味で使う「sige」(シゲ)は、スペイン語の「sigue」から来ており、「続けて/続け」という意味です。そしてsiguro (シグーロ) はフィリピン語では「たぶん・おそらく」ですが、スペイン語のseguro (セグーロ) は「確実に」という意味です。さらにフィリピン語のalmusal (アルムサル) は朝食のことですが、スペイン語のalmozar (アルモサル) はなんと昼食なのです。昔のスペイン人とフィリピン人の間でどんな会話が交わされて、こういう意味の違いが生じたのだろうと想像してしまいますね。

食べ物の名前も、フィリピンではスペイン語とは全く違う物を示す場合があります。例えばフィリピンでturon (トゥロン) と言えば、バナナの揚げ春巻きですが、スペインでturrónはナッツの入った飴のこと。tocino (トシーノ) と言えばフィリピンでは甘く味付けした豚肉のことですが、スペイン語のtocinoはベーコンのこと。野菜炒めなどの炒め物はフィリピンではgisado (ギサード) と言って、gisa (ギサ) を活用させginisa (ギニサ) という呼び方もありますが、スペイン語のguisado (ギサード) は、煮込み料理のことです。

変わった使い方

「真っすぐ行って!」は、フィ

リピン語で「Deretso lang! (デレッチョ・ラン!）」と言いますが、このderetsoは、スペイン語のderecho (デレチョ) から来ています。フィリピン語では「ずーっと、ずーっと真っすぐ」なんていう時には「デレ」を繰り返して「Dere-dere-deretso!」「デレデレデレッチョ!」なんて言い方もしますが、これは頭の二音節を繰り返す珍しい使い方です。

意識されない「外来語」

日本でも「タバコ」「かるた」「金平糖」など、比較的古い時期にポルトガルから来た外来語は、外来語として意識せずに使われていますが、それと同様、フィリピン人もスペイン語由来の言葉は外来語としてあまり意識せずに使っています。

言葉は物や情報と共に海を渡り、ある時は意味を変え、使い方を変えながらその地に定着していきます。言語を学ぶ楽しさはこんなところにも見出せると思います。

文：デセンブラーナ悦子



日英・タガログ語通訳。大阪外大フィリピン語学科卒。在学中にフィリピン大学に交換留学。フィリピン人男性と1992年に結婚後マニラ在住。

Twitter:
フィリピン語
ミニ講座
@FilipinoTrivia





Where I'd like to be

決して変わらないものがあります。

ヘラルドスイーツには、これまで、そして、これからも変わらないものがあります。それは、お客様へのよりよいサービスを心がけることと、心からのおもてなし。皆様にご満足いただけることが私たちにとっての喜びです。

SEE 5 REASONS WHY YOU
WILL CHOOSE TO STAY WITH US!
SCAN THE QR CODE BELOW



WWW.HERALDSUITES.COM



Hatsu Hana-Tei
JAPANESE RESTAURANT
はつはな亭



SCAN FOR ONLINE MENU

TRUNKLINE: 02 7759 6270 LOC. 2124
GLOBE/VIBER: 0917 316 9250
SMART: 0939 938 3718

WWW.HATSUHANATEL.COM

WE ACCEPT TAKE OUT AND DELIVERY ORDERS!

疲れた肌に輝きを！話題のフェイシャルオイル

SNAILWHITE Beauty Glow Drops



タイ発の大人気コスメ&ビューティーブランド、スネイルホワイトからコロナ疲れでハリとツヤ不足気味な肌を救う「ビューティー・グロー・ドロップス」登場。くすんだ肌をシャキッとさせて肌のトーンを整えるビタミンC、うるおいとハリを与えるヒアルロン酸&かたつむり由来の有効成分がたっぷり！ 3滴で肌をたちまちよみがえらせ、ソフトで輝く肌に。さらにアーモンドオイル、グレープシードオイル、チアシードオイルの「ナチュラル・スーパーオイルトリオ」が抗酸化作用を発揮。小じわなど老化のサインを抑え、大気汚染などのストレスからも肌を守ります。

スネイルホワイト・ビューティー・グロー・ドロップスは、そのままでももちろん、保湿分たっぷりのファウンデーションとしてすっぴん風ナチュラルメイクにもピッタリ！ お求めはウェブサイト（QRコード）から。



精悍に、ダイナミックに進化！ 新型ミラージュ

Mitsubishi Motors Mirage G4



人気乗用車の三菱ミラージュG4がモデルチェンジ！スタイリングはミラージュらしい親しみやすさを受け継ぎつつ、フロント、リアビュー、エアロホイールに至るまでダイナミックに進化してグッと精悍に。そんなスタイリングに包まれたパフォーマンスは、スムーズなハンドリングで運転をより楽しく、三菱自動車が誇る1.2リットルMIVECエンジンが燃費性能、環境への配慮も進歩させています。さらに、スマートフォン接続オーディオによるナビゲーション情報や音楽で、安全&快適なドライブをサポート。ゆったりくつろげるインテリア、たっぷり入るトランクは、家族でレジャーやショッピングにも最適です。

運転席と助手席に装備されているエアバッグ、電子制御ブレーキシステム搭載のアンチロックブレーキシステムなど安全性能も完備。フィリピンで長年支持されるミラージュ。その理由を体験してみては？ 詳しくはウェブサイト（QRコード）を。



安心、快適 高度空気清浄機能付きマスク

LG PuriCare™ Wearable Air Purifier with VoiceOn™



LGの空気清浄機能付きマスクが進化して、登場。昨年発表されて好評だった同製品より空気清浄機能を充実させ、より快適な着け心地を実現！

家庭で使われる高性能空気清浄機と同等のH13 HEPAフィルター 2枚が空気をクリーンに、全自動のファンが空気の流入をコントロールして呼吸をしやすくします。さらにユーザーの呼吸パターンを認識する技術によって、ファンの速度や呼気量を調節。これらの機能を最大限に生かすために、顔にしっかりと、そしてやさしくフィットする人間工学に基づくデザインを採用。94グラムと軽量なので毎日、長時間の着用でも快適。色はクリームホワイトとオーシャンブラックの2色から選べます。

さらに商品名にある「ボイスオン」機能により、本体にマイクとスピーカーが内蔵され、会話、コミュニケーションもスムーズ。

マスクが生活必需品となった日々が続く中、安全と健康を考えてマスクにこだわる時が来たようです。

LG PuriCare™ Wearable Air Purifier with VoiceOn™は、オンラインショップ (Lazada、Shopee) および取扱店にて。



マニラを愛するマニラブによるマニラの街歩き

#まにら散歩



日々の街歩きの中で気になったものをご紹介
WEBでも毎日フィリピン情報を更新中！



中華街で幸運の(?) 「カエル料理」を体験！

クマインカナ？ たくせき (@takuseki57) です。海外での楽しみの1つといえば、ローカルフード、現地ならではの食事ですね^^

僕もフィリピン住んで5年になり、いろいろなフィリピン料理を食べてきました。アドボやシシング、シニガンスープなどの王道なフィリピン料理も好きですが、とりわけ日本ではあまり見ないエキゾチックフードは強く印象に残っています。例えば、パロット（孵化寸前のアヒルの卵）、スープ・ナンバー・ファイブ（牛の男

性器スープ）、ディヌグアン（豚の血シチュー）、アディダス（鳥足の串焼き）などですね。

今回は、世界最古の中華街とも言われるマニラ市ビノンドで、エキゾチックフードの1つ「カエル料理」を人生初体験してきましたので、紹介します！

幸運の生き物、カエルは特別料理

実はパロットなどよく見るエキゾチックフードとは違い、カエル料理はフィリピンのどこでも見るわけではありません。今回見つけたのは、マニラ市の中華街ビノンドでした。フィリピンの華僑・華人社会ではカエルは幸運の生き物として考えられており、置き物や皮のバッグなどの製品がお土産店でも売られています。カエル料理はフィリピン人向けのメディアでも、エキゾチック料理として扱われていて、日常的に食べるというよりは、特別な時に食べる料理のようです。

辣蒜蓉炸鸡	Fried Chicken in Chili Garlic Sauce	P 160 P 230 P 310
铁板鸡	Sizzling Chicken	P 250
香脆青蛙腿	Crispy Froglegs	P 210 P 310 P 400
蒜蓉酱青蛙腿	Froglegs Garlic Sauce	P 210 P 310 P 400
蒜蓉酱炸鸡蛙	Crispy Froglegs Garlic Sauce	P 210 P 310 P 400
脆青蛙	Adobo Froglegs	P 210 P 310 P 400
辣酱青蛙	Froglegs Chili Sauce	P 210 P 310 P 400
辣蒜蓉炸鸡蛙	Fried Froglegs in Chili Garlic Sauce	P 210 P 310 P 400
铁板青蛙	Sizzling Froglegs	P 320

チキンと比べてもカエルの値段はやや高め。



マカティのスーパーマーケットでも買えるカエル肉。アドボやフライにどうぞ。

はたして、カエルはどんな味!?

ビノンドの屋台レストラン街で、Crispy Froglegs（カエルの足を揚げ物）を食べました。味は鶏肉に近く、臭みなどありません。鶏肉よりも弾力があり、柔らかくも噛みごたえがありました。おいしいのですが、カエルの足のモ

**CELEBRANTS
EAT FOR FREE!**

お誕生日当日は、大人1名と一緒にご本人は無料に。
お誕生日月内であれば、大人4名と一緒にご本人が無料になります!

VIKINGS
THE BEST FROM THE SEA
PHILIPPINES

ORDER THRU
delivery.VIKINGS.ph

8845 4647 (8-VIKINGS)

(上) カエルのから揚げ
(下) ビノンドのオンピン通り
(Ongpin Street)、マンダリンスクエアの反対側、橋を渡る手前でやや地下に降りたところにある屋台街。説明が難しいのでぜひ動画(46:30頃)をご覧ください。

マニラブ動画
「世界最古中華街さんぽ」



モノのぶにぶに感が残っていて、個人的にはちょっと苦手でした…笑

「食」は、その国の文化を色濃く反映していて、そこでしか食べられない珍しいものも多くあったりします。もちろん好き嫌いはあると思いますが、リスペクトを持って体験すれば、その国のことをさらに深く知ることができると思います。

フィリピンでカエル料理、ぜひ試してみたいかがでしょうか？ バイバイぽ～！



カエルを求めて7月中旬、中華街ビノンドへ。

WALKER / WRITER



関口 拓大

検疫レベルがコロコロと変わる中、やはりおうち時間をいかに快適に過ごすかが大事だなと再確認する今日の頃。作業や動画鑑賞用にモニターを新調し、ストレッチマットと器具を買い、快適度がグッと上がった我が家。元々の引きこもり癖が加速しそうです (笑)

マニラブ代表。マニラ歴4年。公務員、Yahoo! JAPANを経て独立し、2017年よりマニラ移住。



マニラの生活・旅行メディア「マニラブ」

現地在住の20代・30代の日本人がお届けするマニラの生活・旅行情報メディアです。WEBメディア、YouTube、Instagramで、マニラのホットな情報を発信しています。
Instagram: @manilovemedi
公式ホームページ: <http://manilove.net>



WEBメディア



YouTube

The Best Steak in town!

BUSINESS HOURS
SUNDAY-THURSDAY 11:00 - 14:00/17:00 - 21:00
FRIDAY & SATURDAY 11:00 - 15:00/17:00 - 21:00

WOODEN HORSE STEAKHOUSE
G/F Unit 2&3 Molito Commercial Complex, Alabang Zapote Rd., Muntinlupa City
☎ 02-8659-7522 / 0927-460-2495 ✉ wh_steakhouse@yahoo.com

文武両道 バギオ大学出身の オリンピックボクサー

先の東京オリンピックにフィリピンからは19名が参加し、女子重量挙げでヒディリン・ディアス選手が史上初の金メダルを獲得して大きな話題となった。そしてディアス選手のほかに男女ボクシングで銀メダル2個と銅メダル1個の計3個を獲得した。さすが世界に名をとどろかせるチャンピオン、マニー・パッキャオの国である。それにしても参加した19名中4名がメダル獲得とはなかなかの好成績ではないか。

ボクシングの代表選手4名のうち、銀メダルを取ったネスティ・ペテシオ選手（女子フェザー級）はダバオ市、カルロ・パアラン選手（男子フライ級）はカガヤン・デ・オロ市、銅メダルのエウミール・マーシャル選手（男子ミドル級）はサンボアンガ市といずれもミンダナオ島の出身。そしてメダルを逃したが健闘したアイリッシュ・マグノ選手（女子フライ級）はイロイロ市の出身である。

ボクシング好きのフィリピン人のことなので、さぞかし出身地では盛り上がったことだろう。

実はここバギオも、このフィリピン代表選手のボクサーたちの活躍に沸いた。なぜなら4名の代表選手すべてが、私立バギオ大学の学生だったことがあるからだ。

銀メダルのペテシオ選手とマグノ選手はバギオ大学卒業生、パアラン選手はバギオ大付属高校の卒業生、そしてマーシャル選手も一時期同大学に在籍していた。4人出場で3つのメダル獲得という快挙に、バギオ大学関係者や卒業生、在校生たちはSNSなどで喜びを表した。ペテシオ選手とパアラン選手はバギオ市政府から名誉市民として表彰もされた。

名伯楽と大学の支援

それにしても、なぜフィリピン南部出身のボクシング選手たちがバギオ大学生だったのか？

この背景には元アマチュアボクサーで、フィリピン・ナショナル・チームのコーチを務めていたグリセリオ・カトリコ・ジュニア氏の存在がある。

バギオ大学はスポーツで知名

度を上げるため、「コーチ・ボーイ」の異名を持つカトリコ氏をボクシング・チームのコーチとして採用。すると、才能あるボクサーの卵たちが、彼を追ってバギオ大学にやってきたのだ。カトリコ氏は2017年にベトナムのボクシング・チームのコーチとして招聘されバギオ大学を去ったが、東京オリンピックで活躍した4人のボクサーたちは、カトリコ氏の教え子たちだったのだ。バギオ大学がスポーツ奨学金を支給し、アスリート育成に力を入れていることも、ボクシングの有力選手がバギオ大学を選んだ理由の一つ。現在フィリピン空軍に在籍しているマーシャル選手は銅メダル獲得後、バギオ大学に次のようなビデオ・メッセージを送った。

「バギオ大学はボクサーとしての私たちの状況を理解し、必要なサポートをしてくれた。この大学で学んだことを誇りに思う」

バギオ大学の国際ホスピタリティ&観光マネジメント学部を卒業したペテシオ選手について、同大ボクシング・チームのコーチのマーティ・オダシン氏



ボクシングコーチのカトリコ氏。バーナム公園での週末の無料指導にバギオ大学時代の教え子も協力してくれているという。（写真…カトリコ氏提供）

は、バギオ大学のブログの中でこう語っている。

「ペテシオ選手は実習をきちんと終え、学位を取得した。学業とボクシングを両立させるのは簡単ではないが、彼女は正規の学生として学位を取得した」

名コーチが公園で無料指導

ほかにもバギオが強いボクサーたちを生む理由として、標高1,500メートルにあり高地トレーニングに適していることが挙げられる。パッキャオもたびたびバギオを訪れていた。

さて、バギオ大学でオリンピック選手4人を育てた名コーチ、カトリコ氏は現在どうしているのか気になって、バギオの地方紙に記事を探してみた。すると、なんとカトリコ氏、ベトナムから帰国していた。そして、バギオ市のパーハム公園で健康のためにさまざまな格闘技を楽しむグループ「Team Lallakay (チーム・ララカイ=長老チーム)」に、毎週土曜日に家族とともに



オリンピックでのフィリピン・ボクシングチームの活躍で、バギオのフィットネスジムでもボクシングが人気沸騰中！若い女性も多い。

に参加し、アマチュアボクサーたちに無料指導しているという。「長老チーム」は、コロナ禍で外出が減り、運動不足の人々に体を動かす機会を与えようと、昨年末に移動規制が緩和されるとともに活動を再開。今では発起人の「長老」たちだけでなく、子どもから70歳代まで参加する格闘技愛好グループに成長している。

次のオリンピック選手は、週末のパーハム公園から生まれるかもしれない。

反町 真理子

環境 NGO コーディリエラ・グリーン・ネットワーク代表
Kapi Tako Social Enterprise CEO

コーディリエラ・グリーン・ネットワーク (CGN) ウェブサイト (QRコード左)
Yagam Coffee オンラインショップ (QRコード右)



生徒募集中!

日本人の先生に習うフィリピン語

まにら新聞監修

フィリピン語Eラーニング タガログ語教室

フィリピン語を話せるようになってみたい、習ったことがあるが文法を理解していないので暗記したことしか話せない、という方必見!

フィリピン語講師歴20年の澤田公伸先生が、文法から会話まで丁寧に指導します。全く初めての方も、以前習ったことがありさらにブラッシュアップしたい方も学んで頂けます。

授業形態

クラス開講日時

ZOOMを使ったオンライン授業

●10月9日(土) 開講

午後13:00~14:30 第1回目開講予定 フィリピン語中級(2)

——難易度の高い動詞や会話に役立つフレーズをみてゆくコース

午後14:40~16:10 第1回目開講予定 フィリピン語初級

——基本的な文章の成り立ちや基礎文法事項をみてゆくコース

午後16:20~17:50 第1回目開講予定 フィリピン語中級(1)

——典型的な動詞を中心とする応用文法事項をみてゆくコース

※毎週土曜日に1時間半の授業を行い、計16回の授業で1タームとします。

※入学ご希望の方は直接澤田までご連絡ください。

授業料

入会金1,000ペソ(2,200円) / 月謝制4,800ペソ/月(10,500円)



澤田公伸 大阪府生まれ。旧大阪外国語大学(現大阪大学)フィリピン語専攻コース修士課程修了。同大学非常勤講師を経て、1996年からまにら新聞社で記者として働き始める。2000年ごろから新聞社付属カルチャーセンターでフィリピン語(タガログ語)講座を開講し、現在に至る。主な著書、翻訳書に「ゼロから話せるフィリピン語」(共著、三修社)、「ことたび・フィリピン語」(白水社)、「物語・マニラの歴史」(共訳、明石書店)、「戦争の思い出-日本占領下で生き抜いたフィリピン少女の物語」(ヘレン・メンドーサ著、メディアアイランド)など

お問い合わせ

講師・澤田 sawada@manilashimbun.com

事務局・深田 rie.fukada@manilashimbun.com

「バルコニスト」実践中。

最近、ネットで見つけた「バルコニスト」なる造語。バルコニーやテラスで自然に接して過ごすライフスタイルらしく、日本では推進する協会まで結成されているようです。

実は、我が家ではもう数年前からこのバルコニストを実践しています。子どもが独立し、夫婦2人だけの世界になってみると、お互いに見なくても良いものまで見えてきてしまい、ストレスが深刻になってきました。そのような時に、まず私一人でテラスでお茶を飲むことから始まり、読書やインターネット閲覧、ついに食事と、範囲が広がっていきました。2人での時もテラスの方が気分がよくなるから不思議です。来客の際もテラスを希望されるようになると、リビングもダイニングも不要です。

風雨の強い日以外は、ウォーキングから帰って来る朝6時半から晩酌を終える夜8時過ぎまでずっとバルコニストです。野鳥やトッコヤモリの鳴き声、風にそよぐ葉の音、隣で庭を掃く音。家が山の中腹にあるので、雨季は気温が20度まで下がり、鍋パーティーを楽しみます。温度や湿度を体感できる空間なのです。テラス周りのガーデニン



緑を望む自宅テラスでくつろぐバルコニストの筆者。

グにも精が出ます。ウォーキング中に見つけた野草、枯木や石をアレンジして、お金をかけずに楽しんでいます。

新たな居住(?)空間ができたことで、常に夫婦で顔を合わせている必要がなくなったのもストレス解消に役立ち、夫婦円満に大いに有効なようです。

テラスには蚊やハエ、アリも

いますが、これらはセブではどこに住んでも付き物。蚊取り線香をおまじない代わりにたいているものの、長いセブ暮りで心身ともに慣れてしまったのか、気にならなくなった今日この頃。

うっとうしかった網戸も取り外して、屋内外が一体化し、ますます心地よくなりました。



萬里 BANRI NOODLE HOUSE

sushi bar and japanese restaurant

地元の人に絶大な人気を誇る

老舗の日本食レストラン。たくさんのファンがいます。新鮮なネタを厳選したお寿司や、丼物、麺類など、和食から中華まで品揃え豊富で、常連の舌も飽きさせません。日替わりランチメニューも豊富で常時10種類ほどあります。毎日少しずつ入れ替わるランチを楽しむのもいいですね。

バニラッド店 Tel: (032)234-0788
Crossroads Mall, Banilad, Cebu City



PUERTO GALERA OCEAN CLUB

海と太陽と笑顔の島

プエルトガレラの事
なら何でもお気軽に
お問い合わせ下さい

ダイビング
フィッシング
ジェットスキー
バナナボート
スノーケリング
ビーチホッピング
総合マリンスポーツ

Summer Connection Beach Resort

WHITE BEACH, PUERTO GALERA, O. R. MINDORO

電話: 0939-550-0007 / 0917-981-0077 (白石)

E-mail: pg_ocean_club@yahoo.co.jp



深場五目釣り



Hachi International Philippines, Inc.

ハチ・インターナショナル・フィリピン株式会社

現在 オンラインにて業務を行っております!

通訳・翻訳・バイリンガルスタッフ・人材派遣
(Japanese, Filipino, and English)

For inquiries you can
reach us at:

8564 4473 / 8563 5337

0925 448 9881 / 0925 448 9861

Email us at:

hachi.international@gmail.com



Hachi International Philippines, Inc.



Hachi International Phils., Inc.



hachintlph

フィリピンの保険ドットコム

各種保険のプロフェッショナルが必ず安い保険をお探しします。

毎年ローカル社員の医療保険料が値上がりし、お困りではありませんか? また、どうも
ローカルスタッフに任せておくには不安が? とお考えではありませんか?

当社にお任せください。すべて解決いたします。

従業員様医療保険、傷害死亡保険、工場保険、
火災保険、自動車保険、船舶、船員保険、ボンド
保険 等ありとあらゆる保険

下記はすべて無料にてご奉仕させていただきます

1. 同じ補償内容で現行より安価で安心な保険会社をお探しします。
2. 弊社スペシャリストを 24 時間対応で御社にお付けします。
3. 弊社担当者が保険クレーム処理をすべて代行いたします。

下記までお気軽にご相談ください

ジャパンデスク 担当: 大場

携帯: 0917-525-0050

Email: pphirooba@gmail.com

Web: www.trinity-insures.com

マカティ本社: 7504 Bagtikan St., San Antonio

Village, Makati City Philippines 1203

Tel: +632-8810-1653

TRINITY
INSURANCE BROKERS



【引越専用ホットライン(日本語)】(担当: 山内・伊藤)

☎(02)8403-1106

☎(02)8837-3415

<http://www.nipponexpress.com/moving/ph/>

With Your Life **通 日本通運**

ナビマニチャンネル

10月の動画ラインナップ



コロナ禍のマニラ首都圏の防疫区分がGCQからECQになって落ち込んで、MECQになってちょっとホッとして、GCQに戻るかと期待したらMECQ据え置きでガックリ。そして防疫区分の新しい呼称「レベル4」が登場。そんな9月を乗り越えて、ナビマニチャンネルは10月もバラエティに富んだ動画を公開します！ 今月のラインナップをどうぞ！ ※公開予定日は変更となる場合があります。

10月3日公開

初心者向け☆東南アジアの盆栽



「ナビマニラ」9月号巻頭「趣味人に会う。」に登場いただいた盆栽愛好家のビック・セバロスさん。弁護士であり、名門アテネオ・デ・マニラ大学の教授であり、実業家でもあるビックさんによる盆栽入門！ 日本では盆栽＝おじさんの趣味というイメージですが、国際的には年齢にかかわらず人気がある趣味なんだそう。未知の盆栽の世界にまーちゃんも興味津々、ハサミを持って剪定（せんてい）にもチャレンジ。そのお堅い肩書からは想像できないノリノリなビックさん登場の動画をどうぞ！

10月10日公開

フィリピンのおにぎり食べ比べ



今マニラで注目の食べ物、それは、おにぎり！ コロナ禍中のフードトレンドに寿司ベイク（ベイクド寿司）が登場したあたりから、ご飯、のり、具の組み合わせがマニラではウケるんだなと思っていたら、ファミリーマートのおにぎりが充実し、モスバーガーにもおにぎり（商品名はSushiとなっておりますが……）が登場したというじゃありませんか。そこでまーちゃんその他の面々が、ファミマとモスのおにぎり食べ比べを敢行！ マニラを舞台に火ぶたが切られた、仁義なきおにぎり対決の行方はいかに？

10月17日公開

フィリピンで働くOLかばんの中身紹介



筆者が日本で中学生だった昭和の時代、持ち物検査というものがあった、クラスの担任が生徒のカバンの中身をチェックすることがありました。今から思えばなんのためだったのか不明で、拒否すればよかったと思うのですが田舎の中学生は従順でした。まだ読み終わっていない『少年ジャンプ』を没収されたり、当時は大きいレコードのLP盤をすばやく教室のロッカーの隙間に隠したりしたものです。そんなのはるか昔の話にヒントを得たかは定かではありませんが、まーちゃんが自分のかばんの中身を大公開！

10月24日公開



『千と千尋の神隠し』のカオナシになってみた

もうすぐハロウィンということで、仮装をせねばと意気込むまーちゃん。そこで選んだのがカオナシ。理由は「コストがかからないし、みんなが知ってるキャラクターだから」だそう。コスパがいいってことです。動画では必要な材料からメイクアップの仕方まで丁寧に紹介しています。これであなたも立派なカオナシに！

今年のハロウィンの仮装に悩んでいる方、コロナ禍でわいわい楽しむハロウィンパーティーはご法度かもしれませんが、自宅でひとりカオナシになってみるのもいいものです。家族の中で1人だけカオナシになって奥様やお子様の反応を見て楽しむもよし、またあきれて無視されてみるのもいとをかしです。

10月31日公開



カオナシ ドッキリ！

カオナシになったまーちゃん。せっかくカオナシになったことだし、またハロウィンということで、まにら新聞オフィスでフィリピン人と日本人スタッフにドッキリを仕掛けました。フィリピン人スタッフにとってはカオナシを知っているかどうか関係なく、十分にホラーなカオナシまーちゃん。「思ったよりもみんな怖がってくれてよ

かったー。いい動画が撮れたと思います」(まーちゃん談)。記者のF嬢同様(写真上)、筆者もしっかり驚かされました。どんなリアクションが炸裂するか？ ガチな反応をお楽しみください。皆さんもカオナシになって職場やご家庭でどうぞ。ただし、くれぐれもカオナシのまま銀行には行かないようにしましょう。



Navi Mani Channel
ナビマニチャンネル

おもしろい、楽しい、おいしい、明るいフィリピンお届けします！

YouTube 毎週日曜午後7時配信

チャンネル登録
お願いします！





自由でゆるやかな フィリピンの求人応募

数年前、フィリピン人の履歴書を初めて見た時は、驚いた。応募者の身長体重まで明記されていたからだ。身長はフィート、体重はポンドで書かれていて、ついでにフライ級、バンタム級と階級を明記してほしいくらいだった。身長体重まで記載するのはフィリピンの伝統的な履歴書の書き方で、最近は変わってきてはいるらしい。

フィリピンで申請書類を記入する時に未婚、既婚、別居、離婚、ミドルネームの代わりに母の旧姓を書かされることもあるが、日本人としてはまだ慣れない。

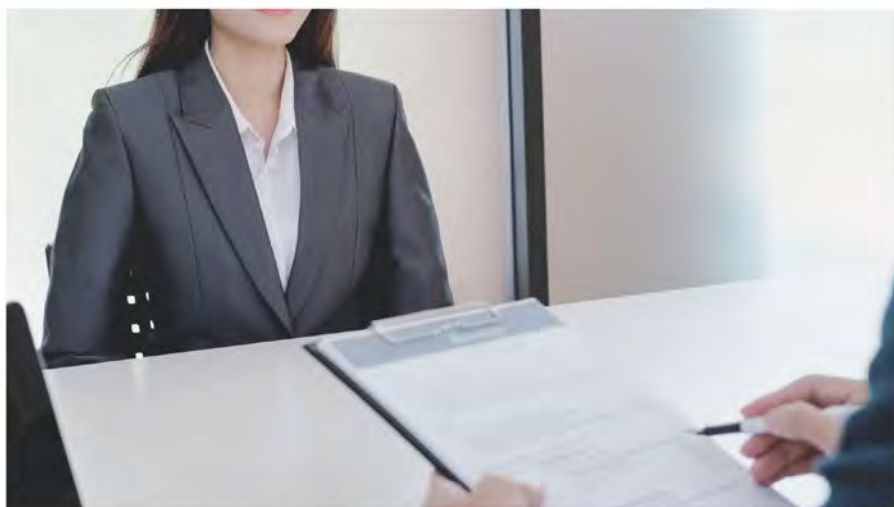
時代とともに変化してきた履歴書といえば、特に日本の履歴書は激しく変わったと思う。昔は専用の履歴書の用紙があり、手書きが普通だった。就職活動の時、東京の私立大学付属高校出身の友人は出身高校を書くのに東京都私立から始まって普通科卒業までを含めると、約30字になってしまうと言って嘆いていた。当時は一文字間違っただけで、印象が悪くなりそうだからと修正液を使わず、一から新しい履歴書を書いていた時代。なんという紙の無駄、環境に悪いことをしていたのだろう。その点、今は一般に手書きではなく、履歴書のアップデートも簡単、Eメール送信で環境にもやさしい。

面接時間は応募者の自由？

フィリピンでの採用業務で驚くのは履歴書だけではない。面接の時も驚かされることがあった。カジュアルな普段着で来たり、なんの連絡もなく面接に現れないのは驚くまでもない。

以前、面接の時間とは全く違う時間に現れた応募者がいた。聞くと、地方の州からマカティに来るまでにどれくらいの時間がかかるかわからず、早朝に出たら面接の時間よりも3時間以上早く着いたのだという。遅れるよりは早い方がいいと考えたのかも知れないが、おそらく日本だったら、面接の時間までどこかで時間をつぶそうと考えるのが普通であろう。しかし、こちらも時間を大幅に繰り上げてこの応募者を面接した。ほかにももちろん時間通りに来社した応募者もいたのだが、結局この早く来すぎた応募者を採用することになった。また、指定の面接日時に現れず、数日後になんの前触れもなくやってきて「前の面接日は都合が悪くなったので、今日来ました」という応募者もいた。日本だったら失格となるのだろうが、こちらも面接をした。

こんな、なんとも自由でおおらかなフィリピンの採用業務をひそかに好きだったりする。(T)



面接で自己紹介をお願いすると、そこまで詳しく説明していただかなくても、こちらが困惑することもある。
(イメージ写真)

マニラ現地紙ナメ読み

ちょっと突っ込みたくなる話題あり

コロナ禍で過熱？
フィリピン人のピザ愛

〔9月9日・デイリートリビューンC18面〕 昨年パンデミックが始まってから、私たちの食生活は劇的に変化した。外食に行く回数がめっきり減り、自炊が増えた。そして食事の宅配を使用する機会が増えた。街で食事の宅配業者を見ない日はない。配送サービスのGrabと調査会社ニールセンIQbによる調査で明らかになったことは……。

- ・食事の持ち帰り注文72%増加。
- ・食事の宅配業が活況。2020年に参入した業者の総売り上げは61%増。
- ・食事宅配を利用する顧客の65%は、年齢層25～44歳で子どもがいる家庭。
- ・フィリピン人が食事の宅配を利用する理由：①家ではつくれないメニューを楽しみたいから②料理をする時間がないから③交



フィリピンで定番のハワイアンピザ。筆者にとってはマニラに来るまで「自分では選べないピザの種類」。今もあまり理解できないピザである。

通渋滞や駐車する場所を心配する必要がないから。

- ・フィリピン人が家でつくれないと思う料理は、ピザ、ケーキ、パスタ。2020年、Grabフードでピザが検索された回数は600万回に達した。
- ・宅配で注文するのはディナー、ランチ、メリエンダ（おやつ）。
- ・ケーキの宅配注文は2019年に比べて2020年は2.6倍増加。
- ・2020年、Grabフードを利用するフィリピン人は1カ月に約2～

3軒の異なるレストランで注文する傾向にある。店を選ぶ時に重視するのはメニューの種類とコストパフォーマンス。

パスタが家でつくれない料理と考えられているのはどうしてだろう？ スーパーマーケットに大きなパスタコーナーがあるのに。パスタをゆでて、皿に盛ってイワシのトマトソース缶でもかければ立派（？）なパスタ料理のできあがりなのに。

マニラの治安を
守っているものは……

〔9月14日・ピープルズジャーナル13面〕 国家警察はネットで不法に販売されている銃器について調査を開始した。先頃ブラカン州の倉庫で見つかった数千の解体されたM16ライフルをはじめとする銃器と弾薬が、組み立てられてオンラインで売られていた。銃器と弾薬は警察と軍のもので、適切に処分されなかったと見られている。

オンラインショップで銃器が売っているのかLazadaとShopee



(イメージ写真)

を見てみた。するとLazadaではライフルを入れるケースなどはあるが、銃器そのものはなかった。Shopeeでは銃器関連の品物は見つからなかった。確かにLazadaやShopeeで売られていたら怖い。もっとダークなオンラインで取引されているのだろう。

米国の影響のせいか、フィリピンは銃が身近にある。マカティスクエアにもスーパーマーケットやジョリビーと同じフロアに何軒も銃砲店があった。このような風景は東南アジアでは

フィリピンだけじゃないだろうか。

フィリピンに来て間もない頃は、MRTの駅やビルに入る時にX線検査があったり、ショッピングモールの入口に銃を持った警備員がいたりするのを見て「やはりマニラは治安が悪いところなのだな」と思った。しかし、日本でいきなり切り付けられたとか、地下鉄で硫酸をかけられたという事件を聞かずに、マニラの方が安心できるんじゃないかと思うようになった。

マニラの治安を脅かすのも銃であれば、日常の安全と安心をもたらすのも銃。うーん複雑である。

交 換留学生の頃、寮はバランガイの中にあり、庶民の暮らしが身近にあった。ひょんなことから道路脇でタバコとアメを売るおばあちゃんと仲良くなり、彼女の横に「タンバイ」(何もせず座ること)して過ごすことが多くなった。喫煙禁止の掲示の横でタバコを吸ったり、みんなでジョッキを回し飲みしてコーラを飲んだり、すぐ横の側溝で用を足したり…庶民の暮らしを間近で体験した。ある日、そのおばあちゃんが「お金に困った」と言うので3千ペソほど貸したところ、「金があるから仕事しなくていい」と言い残し1週間ほど消えてしまった。(TOM)

大 学1年生の夏休み、カナダ・バンクーバーの大学に6週間短期留学していた。放課後も休日とも友達と本当にいろんな場所に行ったが、その先々での思い出は、日本にはまだ上陸していないカナダ発のコーヒeshop Tim Hortonsと共にある。フィリピンに来て4カ月、そんな勝手に思い入れのあるTim Hortonsにフィリピンで再会できるなんて！ 通いつめてレア感は薄れていくと思うが、毎回静かにわくわくする気持ちは変わらないだろう。もちろんすぐに日本にいる友達に話して、フィリピンに遊びに来れるようになったら、必ず罪深く甘いココアで乾杯しようねと約束した。(映帆)

フ イリピンではJPOPよりもKPOPが流行っています。最近韓国アイドルグループのオーディション番組「Girls Planet999」の動画がよくTikTokで流れていて見ちゃいます。KPOPアイドルを目指す日本人の女子もたくさん出ていました。マニラにもJPOPのアイドルグループがありますが、KPOPほどの人気はまだないような……。やはりアメリカンスタイルのセクシー系は受けがいいのでしょうか。ノリの良い曲、かわいくて、キレのあるダンスが何よりもカッコよく見えて人気が高いのかなと思います。最近流行のへそ出しシャツやお腹チラリ見せる服も、KPOPアイドルの影響なのかな…? (まーちゃん)

左 の欄で書いている記者同様に、私も以前米国にいた時に通った店をマニラで見つけるとうれしくなってしまう。日本未上陸や撤退したファストフードを見つけたら、もういてもたってもいられない。Taco Bellを食べるためマカティからケソン市へ行ったことがある。ラスピニャス市にArby'sがあるらしいので行ってみたい。Chick-fil-A、Church's Chicken、Captain D's、オーストラリアからRed Roosterもマニラに来てほしい。こんな具合に、ジョリビーがない国に行ったら、マニラのあちらこちらで怪しく微笑むマスコットを懐かしく思うのだろう。(T)



賃貸オフィス テナント募集

Modern Office Spaces for Lease

築年数4年 4 years old

モダンなデザイン Modern design

広さ300平方メートル以上のオフィススペースもございます。

Over 300 square meters available

所在地: 928 Building, Arnaiz Ave., San Lorenzo, Makati City, 1223

賃貸期間のご要望に応じます。共益費は固定で安心。各種サービスを含みます。

Flexible Term

Fixed Cost

Services Included

●エアコン完備、カーペットフロア 個室
Fully air-conditioned and carpeted private office

●共同お手洗い Common comfort room

●簡易キッチン Kitchenette

●共有スペース・クリーニング

(カーペットシャンプー、毎月の害虫駆除、4半期のエアコンクリーニング)

Common use area cleaning (carpet shampooing, monthly pest control, and quarterly air-con cleaning)

●サポートスタッフ常駐

(管理、セキュリティ、メンテナンス)

On-site staff support (property management, security, maintenance)



お問い合わせ Contact

Ms. Joy (English and Tagalog)

Tel: 0975-538-5425 (Globe)

joyroldan@sdivision-holdings-inc.com



STEP PHILIPPINE INC.



S-DIVISION



Scan here



TONG YANG 太陽

SHABU-SHABU & GRILL BUFFET

SM MEGAMALL
☎ 0968-854-8888

GREENHILLS PROMENADE
☎ 0968-853-8888

ROBINSONS PLACE MANILA
☎ 0998-999-6899

GENERAL SANTOS
☎ 0917-559-8254



Mey Lin 梅林小館
Chinese Cuisine SINCE 1985

CLASSIC CHINESE FAVORITES

ASSEMBLY GROUNDS
☎ 0977-813-9581

SM MALL OF ASIA
☎ 0998-999-6899

☎ 8845 4647 (8-VIKINGS)

ORDER THRU
delivery.VIKINGS.ph

New Hatchin
Japanese Grocery

Serving You Best.



— 生鮮食品が自慢の
日本食材店! —



Pâtisserie *BEBÉ ROUGE*

CARTIMAR, PASAY CITY BRANCH

Mon -Sun 8AM - 5PM

Unit 6 Cartimar Plaza, Leveriza St.
Pasay City

☎ 02 8833 8905

☎ 02 8660 5070

✉ nh.cartimar@gmail.com

MABINI, MANILA BRANCH

Mon -Sun 8AM - 5PM

2119 A. Mabini St.
Malate, Manila

☎ 02 8708 5026

✉ natsumabini@gmail.com

FOLLOW AND CHECK OUR
SOCIAL MEDIA ACCOUNTS
FOR UPDATES AND PROMOS

 #newhatchin.jg

 New Hatchin Japanese Grocerant

SACRED HEART, MAKATI CITY BRANCH

Mon -Sun 8AM - 5PM

7602 Sacred Heart St. Cor
Metropolitan Ave. San Antonio
Village, Makati City

☎ 02 8519 6567 / 02 8897 7207

✉ sales@newhatchin.com

KATIPUNAN, QUEZON CITY BRANCH

Mon -Sun 8AM - 5PM

133 Katipunan Road, Brgy.
St. Ignatius, Quezon City

☎ 02 8256 6948

☎ 02 7586 7065

☎ 063 917 628 6014

✉ nh.natsuwhiteplains@gmail.com

OKURA
At Home



秋鮭弁当 Autumn Salmon Bento

秋の味覚をお愉しみください。

Okura At Homeでは秋鮭弁当のご提供を開始いたします。
秋鮭と木の子の甘酢餡掛け、稲荷寿司各種(サーモン、穴子、
蟹かまぼこ、錦糸玉子)やようかん等を取り合わせております。

ご提供期間は2021年10月31日迄でございます。

ご注文やお問い合わせは、+63 2 5318 2888
または +63 917 818 9868 にて承ります。

Okura At Home 営業時間: 月曜日から日曜日迄
午前9:00から午後9:00迄 • お引取時間: 午前11:00から午後9:00迄



Hotel Okura
MANILA

2 Portwood Street, Newport City, Pasay City
公式WEBサイト: hotelokuramanila.com

  @HotelOkuraMNL



メニューは
こちら